

研究課題：小児膜性ループス腎炎の臨床的特徴

1. 研究の目的

ループス腎炎は SLE に合併する腎炎です。ループス腎炎は、その組織学的特徴により I-VI 型に分類され、病型ごとに治療方法が異なります。V 型は、糸球体基底膜に病変を持ち、膜性ループス腎炎と言われます。膜性ループス腎炎は、成人ではネフローゼ症候群を合併する例や、治療反応性が良い例が多いという特徴がありますが、小児での多数例の報告は少ないです。今回、小児膜性ループス腎炎の臨床的特徴を検討し、フォローの方法や治療方針について検討します。

2. 研究の方法

2004 年 1 月から 2022 年 8 月までに、当院で治療を行った患者様を対象とします。

診療録から、年齢、性別、体格、病歴（診断契機、高血圧合併の有無、ネフローゼ症候群合併の有無、SLE 症状の有無）、腎生検結果、治療内容（ステロイド投与量・期間、免疫抑制剤投与の有無・内容、IVCY 投与の有無など）、各時期における血中アルブミン・尿蛋白・尿潜血・腎機能・抗核抗体・補体値などの血液・尿検査所見（腎炎発症時、治療経過、治療終了時、最終観察時など）等の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から西暦 2025 年 3 月 31 日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

上記 2. に記載した条件に該当する患者様の中で、上記 2. のような項目を、カルテの記載および検体検査結果から調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：腎臓科 科長兼副部長 藤永周一郎

研究分担者：腎臓科 医長 櫻谷浩志

研究分担者：腎臓科 医員 青山周平

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年3月31日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合で者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）